

桜道

題字 30回生 M. K 書

第95号

愛知県立春日井高等特別支援学校
春日井市中切町二丁目3-8
電話 (0568) 85-3511

『選んでよかったと言われる』ために

校長 橋部 和典



昨年度から続く管理棟の改修工事は折り返しを迎え、外観は空色にグレーの柱が映える素敵

な校舎となりました。四月六日には三十二回生の入学式が行われ、令和八年度がスタートしました。

さて、本校は昨年度の取組を通して、保護者の皆様、地域の方々の御意見や校内の評価を受け、今年度の重点目標を、『高等特別支援学校における専門性の向上』『信頼を築くための人権意識、危機管理意識の向上』『地域資源の活用と開かれた学校』『働きやすい職場環境づくり』としました。

これらを基に、「選ばれる学校・選んでよかったと言われる学校」を目指してまいります。生徒、保護者、企業に選ばれ、地域に認められるよう、様々な取組を進めてまいります。そのために、学校、家庭、地域、企業との連携は欠かせません。また、皆様の声は私達が前へ進むための原動力となります。保護者の皆様始め、関係の皆様方の本校教育への御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

『心を育む毎日に』

P T A 会長

高橋 真奈美



日頃より P T A 活動に御理解と御協力をいただき、ありがとうございます。子ども達にとって新しい春が始まり、

それぞれの目標に向かって充実した毎日を送っていることかと思えます。高校生活は社会へ飛び出す前の大切な三年間。学校生活を通して思いやりや感謝の心、失敗や困難に直面しても折れない強い心、「もっと知りたい」という学びの心、他者の意見や物事を多様な視点で捉え、素直に受け入れるしなやかな心。子ども達が豊かな心を育むために、P T A 役員一同、先生方、また、保護者の皆様や地域の方々との協力しながら、充実感に満ちた活動になるよう心掛けて参りますので、一年間御支援と御協力をよろしくお願いいたします。

【役員紹介】

会長 高橋 真奈美

副会長 梶原 千晶 伊藤 純一

書記 直井 基樹

会計 寺田 瑛利子 田中 恵美

監事 郷司 真紀子 北村 敦子

村井 真紀子 野木森 智子

田川 友里

顧問 成瀬 真由

入学式

四月六日、暖かな春の日差しに包まれる中、令和八年度入学式が執り行われました。桜も散ることなく校庭に春の彩りを添え、式にふさわしい晴天の一日となりました。

式に先立ち、音楽部によるハンドベル演奏が披露され、澄んだ音色が会場を包み込み、新入生の緊張を優しく和らげていました。

式では、新入生一人一人の名前が呼ばれると、全員がしっかりと返事をし、堂々とその場に立つ姿が印象的でした。また、入学者代表による宣誓では、学校生活への決意がこもった力強い言葉が述べられ、これから始まる学びの日々への期待を感じさせました。

これから新入生は、仲間とともに多くのことを学び、大きく成長していきます。充実した学校生活の中で、たくさんの方の思い出を重ねていくことを心より願っています。



新入生歓迎会

始業式後、新入生歓迎会が行われました。二、三年生の有志によるバンドの演奏では迫力あるサウンドと息の合ったパフォーマンスが会場を盛り上げ、新入生からは自然と笑顔や拍手が生まれました。

演奏の後は、各部活動の紹介が行われました。運動部・文化部それぞれが日ごろの活動内容や魅力をそれぞれの部活動の特色を生かし、工夫して伝えることができました。新入生は真剣に耳を傾けながら、二年間、どの部活動で頑張ろうかと少しずつ考え始めたようでした。これからの学校生活に期待が膨らむ良い歓迎会となりました。

寄宿舎より

今年度、寄宿舎は十六名の一年生を迎え、総勢三十七名でのスタートとなりました。一年生は新生活に対する不安がいっぱいあると思いますが、二・三年生の先輩たちの姿を見て、寄宿舎生活の流れを理解し、友情を育み、互いに励まし合いながら、充実した寄宿舎生活を送ってほしいと思います。

二、三年生は率先して手本を示し、一年生にとつて、尊敬できる先輩としての姿を見せてほしいと思います。

寄宿舎では集団生活を通して、責任感や協調性を育み、社会性が身に付くよう、日々支援をしていきます。

一年生オリエンテーション合宿

一年生は、美浜自然の家でオリエンテーション合宿を行いました。到着時は予報にない雨に見舞われ、雨天日程へと変更しましたが、午後には雨も上がり、野間灯台までのウォーキングを実施することができました。

二日目は写真立てのクラフト制作やボッチャ大会に取り組み、仲間と声をかけ合う姿が見られました。合宿を通して絆が深まり、心に残る充実した時間となりました。これからの学校生活でも、助け合って成長して欲しいと思います。



第二回地域奉仕活動

去る五月十五日(金)、午前中の時間を使って、前期地域奉仕活動が行われました。それぞれの担当区域に分かれて清掃活動を行い、空き缶や吸い殻、その他紙くずやビニール袋など、多くのごみが見つかりました。毎日使用する通学路やその周辺の状況を知るための良い機会でもあり、ごみの多さに生徒たちも驚いていました。暑い中、大変ではありましたが、活動に集中し、活

動を終えたときの表情には、地域に貢献できたことへの喜びがみなぎっていました。これを機会に、身の回りを常に清潔に保とうという意識につなげてほしいものです。

進路 〳巡回指導より〳

四月に第二十九回生が卒業・就職して二か月半が経過しました。本校では、卒業生の定着支援(アフターケア)として、職場開拓を兼ねて年三回程度の巡回指導を実施しています。また、一年目の定期定着支援以外でも、会社や卒業生本人からの要望に応じて会社を訪問したり、学校に来訪していただいて面談をしたりしていますので、その報告を一つ紹介します。

製造業で働くAさんは就職後、有給休暇の使い方などで一時的に課題も見られましたが、現在は支援機関と連携しながら前向きに勤務を続けています。職場環境の変化により悩む様子もありましたが、将来について考える機会となり、本人なりに目標をもって日々努力している様子が見えられます。生活面でも安定しつつあり、「頑張っていきたい」という前向きな気持ちが見られており、今後の成長が期待されます。

悩みの種類は人それぞれですが、話すことですっきりして、考えもまとまると思います。気になることはどんどん相談して、気持ち良く学校生活や仕事に専念できるようにしてほしいと思います。

新任・転任者

部主事 (佐織特別支援学校より)
 教員 (名古屋豊学校より)
 教員 (一宮東特別支援学校より)
 教員 (新規)
 教員 (新規)
 教員 (新規)
 寄宿舎指導員 (一宮特別支援学校より)
 寄宿舎指導員 (一宮豊学校より)
 臨時的任用教諭
 臨時的任用教諭
 臨時的任用教諭
 臨時的任用講師
 臨時的任用講師
 学校事務員
 臨時的任用主事
 用務業務員

加藤みゆき
 岡本 竹彦
 吉川 将
 森口 明典
 松下このみ
 榊原 蒼生
 藤原 恵
 長谷川 徹
 池田 恵里
 伊藤あかね
 内野 裕子
 長田 果歩
 大久保 祥
 山田 恵三
 松岡菜穂
 水野 和正

転出者

佐織特別支援学校へ
 春日井高等学校夜間定時制へ
 小牧特別支援学校へ
 小牧特別支援学校へ
 小牧特別支援学校へ
 港特別支援学校へ
 名古屋盲学校へ

西 孝則
 坂野 有基
 島岡 倫也
 遠藤亜由美
 孫野 健一
 山内 明晟
 井口 貴之

